

水清きふるさと

平成23年度活動のまとめ(2011年度)



櫃取湿原

岩手県生活問題研究会
財団法人 岩手県民共済会

2011年度 活 動 報 告

甚大な被害をもたらした東日本大震災から1年1か月余りが経過しました。この間、県内は勿論、県外、国外から多くの支援が続けられました。当研究会の会員もそれぞれの立場から現在も支援を続けています。

懸命に生きぬく努力をしている被災者のために一刻も速い復興の実現が急務であると考えます。

21世紀とは、再生・共生の世紀として明るい展望が開けるはずでした。しかし、地球では生命を脅かす状況が未だに絶えません。このような状況下で「これから水の戦争が始まる」と言われるようになり、水は生命あるものにとって欠くことの出来ない大切な資源であるということを再認識するに至っています。

当研究会は、2010年に「限りある資源を大切に」という方向性を活動の中心に据え、原点に立ち返る研究をすることにしました。

身近に使われている家庭用合成洗剤と水の汚染との関わりを学習することによって日常の暮らしを見直すことにしました。年次的に研究、実践をすることになります。

資源の再利用について考えるとき、同時に私たちのライフスタイルにも考えを及ぼしていく必要があります。これまで先進的な実践をしている自治体視察、資源再利用製品を作る工場を見学する等積極的に活動をすすめてきました。啓発活動をすすめていく上からもこれらのことは継続していくことが大切であると考えます。

私たちの活動に対して、常にご支援、ご協力下さいました関係各位に対しまして感謝申し上げます。

2012年 4月

岩手県生活問題研究会
会長 佐藤 まゆみ

水はいのちの源

—水質汚染を考える—

2010年の活動の中で「洗剤溶液がメダカに及ぼす影響」の実験を行いました。その結果、水以外の水溶液「石けん・合成洗剤」では石けんの水溶液がメダカにとって生きやすいことがわかりました。このことから、「合成洗剤とは何か」について改めて学習を試みることにしました。

今年度は初歩的段階から始めることとして、

- 日常家庭で使用している合成洗剤の成分調査
- 合成洗剤の種類
- 洗浄効果を上げるために使われている補助剤・添加剤の影響

等について学習する計画を立て取り組みをすすめています。

現在でも家庭雑排水による有害物質が増えているとされますが、日常的に使用されている合成洗剤について良く知ることが大切です。

当研究会は、年次的に研究・実践をすすめていきます。

報告 佐藤 まゆみ



洗濯用合成洗剤

品名	成分	特徴	使用量
せっけん	脂肪酸Na 純せっけん60% 炭酸塩		水30ℓに対し40g
アタック 花王	界面活性剤22% 直鎖アルキルベンゼンスルホンNa ポリオキシエチレンアルキルエーテル アルカリ剤(炭酸塩) 工程剤(硫酸塩)分散剤 蛍光漂白剤 酵素	ニオイ、くすみの原因となる皮脂汚れをスッキリ落とします。	水30ℓに対し20g
液体パワー セフター (株)コープ クリーン	界面活性剤36% ポリオキシエチレンアルキルエーテル 脂肪酸エタノールアミン 溶剤 アルカリ剤 酵素	W酵素配合。皮脂、泥汚れ食べこぼしをしっかりと落とします。無蛍光なので生成りや淡色衣類も安心。 ドラム式にもおすすめ	水30ℓに対し25g
セフター (株)コープ クリーン	界面活性剤20% アルキル硫酸エステルNa ポリオキシエチレンアルキルエーテル 水軟化剤(アルミノけい酸) 漂白剤 酵素	でんぷん分解酵素、たんぱく質分解酵素配合。食べこぼし、色柄ものにも安心な酸素系漂白剤配合。室内干しのイヤな匂いの原因となるガンコ汚れもスッキリ!	水30ℓに対し25g
アウラ 液体洗濯用 せっけん サラヤ(株)	純せっけん分30% 脂肪酸Na	純せっけんのため石けんカスが生じるので、洗濯槽の手入れや、通気に注意! 生成りや淡い色物にも安心して使える。汚れのひどい部分には直接塗布して部分洗い。	水30ℓに対し50ml

台所用合成洗剤

品名	成分	特徴	参考
ミキクリーン メイト 三基商事 (株)	界面活性剤 19% ① アルキルエーテル硫酸 Na ② アルキルアミノオキシド ③ アルキルベタイン 可溶剤	手肌にやさしい処方 手肌のためにゼニオイエキス・ボタンエキス配合、さらにアミノ酸系界面活性剤を使用 植物系（ヤシ油）原料使用 LAS・ABS は不使用 植物エキス配合、緑菜エキス・グレープシードエキス配合 優れた生分解性、無リン 高い洗浄力で油汚れもスッキリ落とします。	450ml 水 1ℓ に対し 1 ml
チャーミー 泡の力 ライオン	界面活性剤 4.4% ①ポリオキシエチレン脂肪酸 アルカノールアミドアルキル スルホン酸 Na 安定剤、金属対鎖剤	爽やかなシードルの香り 油汚れは泡がはがす	250ml 水 1ℓ に対し 0、75ml
ジョイ P&G	界面活性剤 3.5% ①ポリオキシエチレン脂肪酸 アルカノールアミドアルキル スルホン酸 Na②ポリオキシ エチレンアルキルエーテル 安定剤、粘土調整剤	しつこい汚れもスッキリ まな板、スポンジ、布巾も 除菌 爽やかな微香タイプ	260ml 水 1ℓ に対し 0、75ml
ヤシノミ洗 剤濃縮タイ プ サラヤ	界面活性剤 3.2% ①ポリオキシエチレン脂肪酸 アルカノールアミドアルキル スルホン酸 Na ②脂肪酸アルカノールアミド 洗浄補助剤 安定剤	手肌と地球にやさしい濃縮 タイプのヤシノミ洗剤 少量で豊かな泡立ちと力強い 洗浄効果を発揮、排水は生 分解され地球に還ります。 活洋成分ヤシノミ 100% 無香料、無着色高い生分解性	300ml 水 1ℓ に対し 0、75ml
キュキュッ ト	界面活性剤 4.5% 高級アルコール系（陰イオン） アルキルアミノオキシド他 安定剤 除菌剤	オレンジオイル配合、油汚れ も一度でスッキリ まな板とスポンジの除菌が できる、手に優しい	250ml 水 1ℓ に対し 0,75ml

水の日行動

8月1日は水の日です。
盛岡水道部の方と一緒に。
食廃油から作った石鹼200個を用意しました。
通る人々に肴町アーケード前、
川徳前を通る人々に無料配布しました。
手づくり石鹼と、
水道部からのチラシを一緒に入れて
水の大切さを通る人にお話をし、
「水を汚さない石鹼を使ってみませんか？」と
呼びかけました。
今年は震災後、デパートも閉鎖されています。
歩く人達が少ないアーケード内です。

吉田 静子

肴町アーケード前



大震災復興炊き出し弁当作りに参加

3月11日の震災後、自分に何かできる支援はないだろうかと考えていました。消団連主催の炊き出し弁当支援のボランティア募集があるということ、研究会の例会で聞き、地元においてもできそうだと思いますと参加しました。

6月7日に初めて参加した時、天昌寺町のコープ「あい」には30～40人の人たちが集まってきました。

当日は気仙町・矢作・小友・広田に363食を届けるとのことでした。当日の献立は下記のとおりでしたが、その食材のなかには他県からの支援物資もあり、有難いものだなあと思いました。

何度も参加している人たちによって手際よく調理されたものが、和室や会議室に所せましと並べられ、プロ並みのお手並みに感激しました。

私たちが試食させていただきましたが、見た目や栄養を考え、冷めてもおいしく食べられるもので、被災地の人たちにも喜んでもらえると思いました。震災直後はおにぎりやパンだけの時もあり、野菜や温かいものが食べたいという声も聞かれ、このような支援が被災者の皆さんの体力、気力のもとになったのではないのでしょうか。

配送はいわて生協の共同購入のトラック、運転はボランティアの男性でした。避難所にいる人たちが楽しみに待っているとのことでしたので、現地に行かなくてもできる支援があることが分かりました。

以前「協同」について、消団連主催の内橋克人さんの講演会がありましたが、協同とは、人や団体が心と力を合わせて助け合うというお話が印象に残っていました。

7か月に亘っての週一回のお弁当炊き出し支援がなされたことは、まさに協同の力だと思いました。

6月7日の献立

ご飯

焼き魚

野菜コロッケ

なすとピーマン、豚肉、うずらの卵のみそ炒め

人参のグラッセ

きゅうりとときくらげ（支援品）の酢の物

たくあん漬

報告 松村 ウメ子

上山製紙を見学して

日 時 平成23年11月 2 日

場 所 上山製紙 一関市千厩町

昨年環境王国展で、見学者の一人が「世界を旅するとトイレットペーパーの白さと柔らかさは日本が世界一だと思う。アジアは勿論のこと欧州を旅してもあまり漂泊しない少し硬めのトイレットペーパーを使っている。水、薬品などの使用の環境面からも、もう少し白さが低くて良いと思っている。研究会さん、次はこの違いを検討してみたい」という意見がありました。

私たちは環境問題に取り組んでいますので、見学者の指摘はそのとおりだと思いました。近頃のトイレットペーパーは白さだけでなくカラーもの、絵入りのもの、その上香り付けのものまでありこんな付加価値(?)を付けたトイレットペーパーが必要なんだろうかと個人的にも考えていました。そこで、古紙を使ってトイレットペーパーを作っている上山製紙に行き付加価値を付けたトイレットペーパーが環境負荷に与える影響などについて学ぶことにしました。

1 上山製紙について

再生紙のみを使ってトイレットペーパーを作っている。コピー用紙が7割、チラシ3割の割合が多い。新聞紙のみから作ると繊維が弱く製品としては悪い。また機械のトラブルが発生するという欠点がある。月100トン製造

古紙100%で作っているのは東北ではここ上山製紙と秋田県の能代の2か所で、古紙は東北各県から運ばれてくる。

価格的にはバージンパルプ使用のトイレットペーパー(12ロール)と古紙トイレットペーパーでは100円位の差がある。現在の市場では3割がパルプ、7割が古紙。家庭用品表示法では幅と長さの表示義務があるが、紙の原材料、パルプか古紙かの表示は不要。

以前はエコマークを取得していたがこれには費用が100万円かかるので現在は取得していない。これに代わってR100マークは費用がかからないため、このマークを使用している。

2 トイレットペーパーの白度とカラー化、香り付けが環境に及ぼす影響

結論から言うと環境に及ぼす影響は少ないということでした。漂白に使う薬剤は過酸化水素や次亜塩素酸で分解しやすく水になる。価格でみた場合でも白度を下げ

たものとの比較は1%も変わらない。一方、カラー化は染料が必要だがこの染料もほんの少しで足りコストには差がない。プリント（絵入り）は印刷代が多少かかり、製品としては高めになるが排水の汚濁は無いに等しい。香りづけのものはトイレットペーパーの芯に香りをつけていてそれが紙に移行するもの。

会社としても極度に白度を上げないものをすると思うのだが、消費者へ渡る前にバイヤーがいる。このバイヤーの意見で拒否されることがほとんどなので、ついバイヤーの意見に従わざるを得ないのが実態。

3 感想

トイレットペーパーの白度を上げたりカラーにしたり、香りをつけることは、環境上特に水の汚染に影響を及ぼすものと考えていました。しかし、上山製紙の社長から聞くと、心配するくらいの負担になっていないとのことでした。ちょっと気落ちもしたが安心しました。それにしても色をつけることは染料を使い、それを処理するにはほんの少しの環境負荷とはいふものの「塵も積もれば山となる」のたどえのように、必要性が無いのであれば使わないことに越したことはないのではと思います。製造者はバイヤーの依頼を断れないという立場にある実態を知り私たち消費者が選ばないという選択肢を持つことが大切ではないでしょうか。これはトイレットペーパーに限ったことではなく、何を商品に求めるのか消費者に問われているマーケットの現代であり、確かな目を養うため学んでいこうと思います。

広野 カツ子



2011年 岩手県消費者大会

日時：2011年10月28日（金）

会場：サンビルホール 10：30～

テーマ：「大震災を越えて創ろう岩手の未来」

全体会・基調講演 講師：京都大学大学院教授 岡田知弘先生

「大震災と原発事故で見てきた社会のひずみと復興への道」

～生活再建を中心に地域経済・社会の再生を！～

- ・東日本大震災は人災の原発事故、子どもの被爆、震災関連死を含め二次・三次被害は今も広がりつつある、未曾有の大災害である。政府は復興計画と震災を口実にして『構造改革路線』の再来をもくろんでいると切り出し、政府の復興政策をTPP 推進消費税増税・道州制推進・市町村合併政策にすりかえようとしていると批判しました。
- ・復旧・復興は一人ひとりの人間を大事にして(人間復興)、二重ローンの解決を急ぎ、営業再開など雇用の場を作り、生活再建をしなければならないと話しました。
- ・被災地では県レベルでの共同センターの組織化、被災者の意向調査、情報・運動交流・対自治体・政府政策要求の展開を、今後復興基金の活用等を含め、県レベル、基礎自治体レベルの運動が重要になってきます。
- ・エネルギー政策に関しては『脱原発』によって小規模分散型の再生エネルギーの普及を提言、ローカルエネルギーで雇用を生み出すことも可能です。
- ・震災復旧・復興を「政争の具」、復興ビジネスの「商売の種」にしてはならない。あくまでも、被災地の被災者の暮らしの再建を第一にした復興政策が必要。地域内再投資力と地域内経済循環の形成を、自治体が主導してすすめるべき。
- ・一人ひとりの住民の生存権を大切にしながら、自然との共生をはかる持続可能な人間社会の再構築へ。多様な主体（個人、団体）による地域内・外での「共同」の取り組みが重要とまとめられました。

感想

復興をえさに、消費税増税・道州制・TPP の推進などをもくろんでいることを知り、ショックでした。復興ビジネス、ゼネコンなど財界は被災地に金を出すのではなく、儲けることに夢中。地域の住民、自治体主導の復興政策を望みます。自然との共生をはかる持続可能な社会を再構築する、モデル地域となれるような復興再生ができたならと願っています。

田上 みね子

岩手県消費者大会 第2分科会 環境エネルギー問題

21世紀の課題「食料・環境・エネルギー」

～脱原発と再生可能エネルギーの可能性～

講師：葛巻町前町長 中村 哲雄さん

- ・ 電車も高速道路もスキー場もゴルフ場も温泉もない町が・・・東北一、日本一になり是非行ってみたい町に・・・・。町民の、そして町長の努力と行動で、今、現実のものになり、全国各地から視察・訪問が後をたたない。
- ・ 「食料・環境・エネルギー」の改善に貢献しながら町の発展的状況を構築することを内外に示すために「環境・エネルギー政策課」を設置し積極的に取り組んだ。町が持っている多面的資源と機能を活かして地域活性化を図る。町経営の基本方針が評価されて国、企業の支援が得られた。

○基本方針の実践

- ・ 酪農・肉畜・農業の振興により貢献する。牛乳120t
- ・ 食料自給率200%
- ・ 「環境問題」～森林が温暖化防止の切り札
- ・ 2002年より、町単独再造林、間伐町産材利用等に補助して林業振興・森林保全実施。2006年より「寄付条例」「企業の森」施行
- ・ 風力発電所2ヶ所で15基、中学校に太陽光発電、牧場に畜産バイオマス・木質バイオマス発電所、畜糞より世界初の燃料電池化に成功この施設により、2900世帯の町で、17200世帯分の電力を供給できる町に。

感想

小さな町の構想そして実践力に驚かされました。日本とくに岩手は自然に恵まれているので、再生エネルギーの確保は十分できることを実感させてくれました。安易に安全と信じ込まされ原発に頼ってきた電力供給を、未曾有の大震災により、いかに危険が伴うものであるかを実感させられた今こそ、変えていく必要があると思います。葛巻出身の方が、昔は何もない田舎なので、葛巻の出身であることが恥ずかしかったが、今は胸を張って私は葛巻の生まれです、と言えますと話しておられました。町民みんなで作りに上げたエコな町、活気のある町であると思いました。被災地のこれからの復興にもつながるお話だったと感じました。

田上 みね子

第 50 回全国消費者大会

日 時 2011 年 12 月 3 日 (土)
場 所 東京・虎ノ門 発明会館ホール 10:00~16:55

テーマ：変えよう日本 つくろう未来～大震災から見えてきたエネルギー・食料・住まい

被災地からの報告とパネルディスカッション

①「東日本大震災による習志野市埋立地住宅と住環境の被害」

袖ヶ浦団地自治会長 佐藤志郎さん

- ・液状化や地盤沈下による上下水道管破裂などの被害報告と給水を巡る行政の問題指摘。
- ・首都圏大地震に備えて防災マニュアルやハザードマップの必要性、夜間訓練も必要。

②「放射性物質汚染と福島県民の状況」

福島県消費者ネットワーク事務局長 佐藤一夫さん

- ・放射能汚染で揺れているが福島にも地震や津波の被害もあることに目を向けてほしい。
- ・原発は冷えるのに3年、廃炉処理に何十年もかかる。国は正しい情報を出してほしい。

③「大学生協ボランティア活動報告」

全国大学生協同組合連合会全国学生委員 富川竜生さん

- ・全国の大学生が1セット4泊5日で、物資運搬・清掃・子どもの遊び相手などをした。
- ・事前研修と振り返りを大事にしている。
- ・今後は、地元主体で継続的に復興支援に向かう必要があるし、被災者の自立が大事だ。

④「被災地自治体からの報告」

岩手県陸前高田市市長 戸羽太さん

- ・公務員や、公務員でもない消防団員が自分の命を投げ出して市民を守ったが、今後、日本全体で公務員の仕事の範囲を考えてほしい。
- ・この8~9か月間、国の規制とのたたかいだった。未曾有の災害と言いながら平時の法律で対処しようとする議員たち。被災地が前を向けるように全国で気にかけて、世論をおこしてほしい。お金より気持ちが寄り添ってほしい。

⑤「パネルディスカッション ～被災者を支援し、被災地の復興を進めるために必要なことは何か」 司会 NHK 古谷和雄アナウンサー

【感想】

- ・人口密集地でのライフラインの確保には、日頃の備えが必要と再認識しました。
- ・学生ボランティア活動で事前・事後研修を大事にしている点から、課題の洗い出しとマニュアル化をしておくことが、今後の災害時における活動に役立つと感じました。
- ・戸羽市長の話を通じて直接聞けただけでも東京に行った甲斐がありました。地元岩手ではその機会がありませんでした。名古屋市からの職員大量派遣の申し出など、報道では聞けないお話もありました。復興に絡んだ利権の問題も含め、私たちの注目が重要です。

東京電力福島第一原発事故後、私たちが選択すべきエネルギーは何か

①「エネルギー政策の選択肢」

独立行政法人 科学技術振興機構顧問 北澤宏一さん

- ・スリーマイル島やチェルノブイリの事故後、世界では原発は増えておらず、エネルギー源の転換が石炭・原子力から天然ガス・風力・太陽光へと進んでいる。
- ・自然エネルギーは、供給が天候などに左右され不安定なため、よい蓄電装置が必要。
- ・再生可能エネルギーの技術で日本はすぐれているので、普及には政治の決断が必要。
- ・国に予算が無いので、民間のファンドの活用が有効である。
- ・冷蔵庫やエアコンを省エネ型にしたり LED 電球にして “つらくない、できる節電” を。

②「エネルギー政策見直し議論と目指すべき方向性」

WWF 世界自然保護機構ジャパン 池原庸介さん

- ・原発縮小に向けて、環境（CO₂削減）や経済への悪影響を最小限にしながら、時間軸や代替手段について建設的に議論が進むよう国民が目を光らせる必要がある。

③「自然エネルギーの地産地消」

長野県飯田市 水道環境部地球温暖化対策課課長 飯島剛さん

- ・飯田市では太陽光発電が全世帯の 3.7%に普及。“おひさま 0 円システム” という、タダで設備を自宅に付けて太陽光発電し 9 年たてば自分のものになるという施策を実施した。
- ・3つの普及方法… i 行政の補助 ii 民間事業で市民共同発電（公共施設の屋根にパネル設置） iii 官民共同でメガソーラー（土地をタダで提供し中部電力が発電所設置）
- ・どのようなエネルギーを使うのかを私たちは選べるし、望む未来を選びとれる。

【感想】

- ・ファンドの話には興味を持ちましたが、民間よりもまず国が再生エネルギーに転換していく政策をうつことが大事だし、国民はこの流れが尻つぼみにならないよう注視しなければなりません。
- ・原子力や化石燃料に比べて再生エネルギーの普及にはお金がかかるので、再生エネを選ぶなら、ある程度電気代が上がることへの国民の理解も必要でしょう。
- ・飯田市の例から、葛巻町もそうですが自治体のやる気と政策次第で自然エネルギーにシフトしていくことは十分可能だと思いました。太陽光以外の自然エネルギーについて学習を深めたいと思います。

【全体を通しての感想】

- ・50 回記念大会というのに 1 日だけの開催で、しかも分科会がなく全体会のみということなので、消費者運動も多様化・高齢化して、力の結集が難しくなっているのかと心配しての参加でした。しかし実際は中身が濃くてとても熱い大会でした。
- ・開会前に 50 年の歴史をたどる映像が流されました。消費者大会は何らかの運動につながるものであり、私たちのやむにやまれぬ要求や願いがあつてずっと続いてきて 50 回になっている大会だから、参加者数が多くはなくても続ける必要があると感じました。

報告 横藤 崇子

平成23年度「いわて女性のつどい」に参加して

日時 平成24年2月3日(金) 10:30~14:30
場所 盛岡市民文化ホール(マリオス)
テーマ 男(ひと)と女(ひと)との明日への絆~愛するいわてに女性の力を~

第1部 講演 「~ふるさとは負けない~」
講師 八木澤商店(陸前高田市) 会長 河野和義さん

200年以上にわたって醤油や味噌を製造してきた老舗企業である八木澤商店の河野さんが、東日本大震災で店舗、工場、全てを流出してから一関市大東町に本社機能を移転し現在に至るまでのがんばりや気持ちの変化、再確認したことをお話して下さいました。震災直後は「津波のこんちくしょう」とばかり思っていました。「津波のおかげ様で」という考えに価値観を変化させることで様々な困難を乗り越えたそうです。また1989年から陸前高田市で始まった「全国太鼓フェスティバル」を企画、実行委員長を務める中で実行委員の半分は女性でその発言、実行力の強さはわかってはいたものの、この震災からの復興を経験して女性の力を再確認したそうです。ふるさとから離れた地での再開にはなってしまいましたが、八木澤さんが本物と認める地元こだわったものづくりをがんばっていくことを応援したいと思いました。

第2部 パネルディスカッション テーマ「東日本大震災から見えてきたもの」
【コーディネーター】岩手県立大学 教授 吉野英岐さん
【パネラー】NPO 法人参画プランニング・いわて 副理事長 田端八重子さん
いわて男女共同参画サポーターの会 気仙ブロック長 本多サト子さん
こどものこと。研究所 座・いどばた 代表 佐藤澄子さん

3人の方々がそれぞれ女性の立場からできることで被災地を応援している様子をお話して下さいました。

田端さんは、宮古市、大槌町、野田村で地元商店での購買と女性の就労支援のため「芽でるカー」で「買い物代行と安否確認」をするプロジェクトを実施し、女性の経済的自立と支援を援助していました。本多さんはタオルを使った帽子を始め、古着や不用品を活かした小物作りを避難所、仮設住宅で行うことで地域のサロンのような場の提供につながっているようです。また、佐藤さんは生まれ故郷の山田町でのコミュニケーションスペースの提供や、女性が楽しみを見いだせる着付けやお花の教室の支援を行っています。

3人とも女性ならではの視点で、被災地の女性を心身共に援助している様子がよく伝わってきました。女性にしかわからない困り事への細やかな心配りや、女性だからできる楽しみや喜びの見だし方等、本当によく考えて実行する力に感心しました。

報告 川村正子

平成 23 年度全国消費者フォーラム

今、消費者ができること ～支える、結びあう、ともに歩む～

日 時 24年3月19日(月) 分科会 12時30分～15時30分
場 所 アルカディア市ヶ谷 全体会 15時50分～17時30分
主 催 国民生活センター

分科会

第1分科会 消費者支援の多角的な取組み
第2分科会 消費者教育への多彩な取組み
第3分科会 消費者被害防止への多面的な取組み
第4分科会 安心・安全な社会実現への多岐的取組み
第5分科会 環境に配慮した多様な取組み

参加分科会 発表者7名(第5分科会 環境に配慮した多様な取組み)

① 循環型社会の実現に向けて

～リメイクから新しい展開を目指して、そして東日本大震災被災地支援に
対応～ ファイバーリサイクルネットワーク(神奈川県)

古着回収活動を立ち上げてそれを事業者に渡す。事業者はウエスや反毛にしてフェルトなどにして利用するが、利用が難しいのが和服。そこで、和服をリメイクして「リサイクル和服フェア」を始め販売した。東日本大震災被災の時は売上金額を被災地に寄付したり、被災地で同じような活動をしている団体を通じて作務衣を作って送った。一方、事業者も努力している。使い切った制服や作業着を反毛にして糸を紡ぎ、漂白しないで作ったエコ手袋「よみがえり」。CO₂の発生を1/6に減少した。神奈川県の3R事業に該当するリサイクル品として認定されている。「よこはまグッズ 001 横浜土産」としても売られることになった。

② 手づくり遊具を使い子どもたちへ省エネ知識の啓発

静岡県生活学校連絡協議会

双六やパズルを作りそれを幼稚園や小学校に持っていき環境教育を身近なものにした。

大きなサイコロを転がして止まったところのコマに書かれてある啓発文を読みながらゴールを目ざすなど。その他省エネポスターコンクールや環境人形劇も行っている。

③ 古い和服と打ち直し綿を利用した しあわせ座布団づくり

鳥取県連合母子会

フリママーケットを行い、販売できるものは売るが残った布で座布団を作り、公民館、駅などの公共施設に提供して喜ばれている。綿の提供を新聞で呼び掛けたところ、各地から打ち直し綿が集まった。着物と綿のリサイクルでごみの減量化。この座布団は4枚の布を縫い合わせて「しあわせ座布団」と命名し鳥取県の玄関口であるJR駅待合室に置くことにより利用する人々に喜ばれている。

④ 環境に配慮したクオリティの高い食習慣を

NPO 法人生ごみリサイクル全国ネットワーク

生ごみの水分を減らすと以下のようにCO₂と重油を減らせる。

4人家族の世帯が1年間、生ごみを次の①から④の方法で処理した場合のCO₂排出量、処理費用を試算した。(1人1日800g、4人家族で1年間292kgとする。費用は重油換算)

① 標準生ごみ：含水率80%の場合 ⇒年に CO₂ 599 kg 重油 16,845 円減

② 従来通りの扱いをした生ごみ：含水率84%⇒年に CO₂ 781 kg

重油 21,956 円減

③ 調理の際できるだけ水に濡らさないよう、そしてしっかり水を切り、ポリ袋にいれ密閉容器で保管した生ごみ：含水率71% ⇒年に CO₂ 373 kg

重油 10,500 円減

④ 調理の際できるだけ水に濡らさないよう、茶がらなどは水切りし、新聞紙に包み、通気式容器で3日間保管した生ごみ：含水率45% ⇒年に CO₂ 137 kg

重油 3,835 円減

現在、所沢市でも自治会と連携し試行している。

⑤ 今こそ グリーンコンシューマーに

しずおか市消費者協会

多くの人々が環境と健康のことを考えて買い物ができるよう行政と連携して、消費者モニター研修会としてエコクッキング、親子夏休み消費者教室を開催。

例：買い物クイズ：AとBどちらを選ぶ？ 地産地消クッキング

⑥ 合成洗剤を使わないくらし

豊田市消費者グループ連絡会 猿投地域消費者グループ

合成洗剤に使用されている界面活性剤が「人の健康を損なうおそれがある」として、国が2001年、PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）の第一種指定化学物質」として指定したことを知り驚き、合成洗剤を使わない活動

を始めた。

廃油を利用した石鹼作り、合成洗剤の恐ろしさなどを機会をみつけて啓発をしている。

⑦ 消費者からみた良い包装とは？

日本包装技術協会主催の「暮らしの包装商品展」に参加するなかで、来客の人にアンケートを行い、その結果を基に消費者、業界に意見を述べてきた。その結果だいぶ簡易包装になってきたが贈答品では難しい一面がある。これからも簡易包装を呼び掛けていく。そして身近な風呂敷の活用を行っている。

コメント アドバイザー 熊本 一規氏

- ・今までリサイクルが重要視されたが、今回はサイクル後のサイクルを重視した活動があった。リサイクルには拡散型（焼却灰→スラグを道路に使うなどの再生利用）と回収型（電池→電池）あるが拡散型は今後は放射能のこともあり気をつけなければいけない。
- ・社会的仕組みを問題にする
行政サイクルが民間サイクルを圧迫してはならない。ともすると民間を作って行政が天下りする例もみられる。P R T R法を家庭の商品にも適用させる。残った殺虫剤の処理など。
デンマークでは地下水を使うため化学肥料は水源の〇メートル以内は使用禁止。農薬の使用量は一世帯いくらまでと決まっている。メタンガスを利用するので家畜への抗生物質は使用しないなどの決まりがある。
- ・科学的知識を持ちその取組を推進する。例えば堆肥作りなど。
生ごみの処理法では堆肥化だけが注目されたが、まずは、食料は残さない→飼料→堆肥→ゴミと処理をすべきと考える。
- ・子供たちに遊びを通じ環境意識を高めるのは良いことである。

そのあと場所を移し全大会

主催者野々山理事長の挨拶のあと消費者庁の松原大臣が来賓挨拶、挨拶後退席するのかと思っていたが最後まで付き合っ発表を聞いていた。

5つの分科会からの発表が1分科会10分程度であったが、実際に参加しないとかなかなか内容が見えてこなかった。

感想

主催者からの発表によると参加者は600名とのこと。昨年は大震災があり行われなかったため今年は例年よりたくさん参加したとのこと。参加者を見ると各地の消費生活センターに勤務していると思われる人が多く見受けられた。発表内容も

「消費者被害の防止への取り組み」「消費者教育への取り組み」など実際仕事を通じて取り組んでいる内容が多かった。その中で5分科会はいわゆる消費者グループの発表が主で、その中の「合成洗剤を使わない暮らし」は私たち研究会と同じ活動であった。CMでは合成洗剤のCMだけなので消費者は石けんにあまり関心を寄せることは少ない。そのため地道な活動ではあるが実施する意義はあると強く感じた。また、生ゴミの減量の取組みでは「生ゴミリサイクル全国ネットワーク」の通気式容器について、盛岡市のゴミ減量課などに問い合わせ、良いものであれば市としても試行してみる価値はあると思った。今後研究会として取り組んでみたい。一日間の研修ではあったがとても有意義な内容でした。

広野 カツ子

◎ いろいろな家族、いろいろな持ち物、いろいろな豊かさ

エチオピアでは、水道も電気もないけれど、親切心と平和に対する祈りがある。



長い間、日本は「質素」「儉約」を美德としてきました。物を買う基準は「長持ち」であり、「分相応」を生活の哲学にしてきました。消費は少なく、食については「腹八分」で、「飽食」を恥ずべきことと戒めてきました。



日本では、人々が忙しそうに動き回る。ものがあふれた生活。

東日本大震災の影響で、電力が供給減となるため、政府は企業や家庭に15%の節電を求めている。

新聞を見ると、家庭での節電対策としてエアコン、照明、冷蔵庫、テレビ、炊飯器、家電全般の待機電力、温水洗浄便座などの節電メニューと効果が示されていた。エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明の4つで8割の消費電力になるとあった。節電メニューの中身を見ると、普段やっていることが多い。節電

効果が一番高いのは、エアコンを使用しないことである。昨夏は暑い日が続いた。一番暑い時間帯は買い物や図書館に行ったりして涼

い、日差しを緩和するのを詰め過ぎないようにすると省エネ型照明に変わったので抜いてお

エアカンを使用しないというすだれを西側の気をつけようと思う。今まで使用していた。トイレの便座がいつも保温になっていた

ことである。昨夏は暑い日が続いた。一番暑い時間帯は買い物や図書館に行ったりして涼

い、日差しを緩和するのを詰め過ぎないようにすると省エネ型照明に変わったので抜いてお

エアカンを使用しないというすだれを西側の気をつけようと思う。今まで使用していた。トイレの便座がいつも保温になっていた

ことである。昨夏は暑い日が続いた。一番暑い時間帯は買い物や図書館に行ったりして涼

い、日差しを緩和するのを詰め過ぎないようにすると省エネ型照明に変わったので抜いてお

エアカンを使用しないというすだれを西側の気をつけようと思う。今まで使用していた。トイレの便座がいつも保温になっていた

ことである。昨夏は暑い日が続いた。一番暑い時間帯は買い物や図書館に行ったりして涼

い、日差しを緩和するのを詰め過ぎないようにすると省エネ型照明に変わったので抜いてお

エアカンを使用しないというすだれを西側の気をつけようと思う。今まで使用していた。トイレの便座がいつも保温になっていた

ことである。昨夏は暑い日が続いた。一番暑い時間帯は買い物や図書館に行ったりして涼

い、日差しを緩和するのを詰め過ぎないようにすると省エネ型照明に変わったので抜いてお

エアカンを使用しないというすだれを西側の気をつけようと思う。今まで使用していた。トイレの便座がいつも保温になっていた

ことである。昨夏は暑い日が続いた。一番暑い時間帯は買い物や図書館に行ったりして涼



節電 わか家の取り組み

松村 ウメ子

ことを思い アサガオをはわせよう テレビは1日6時間 洗剤は手洗いで済ませ、脱水の時だけ洗濯機を使うと洗濯の回数も減り、水や電気の節約にもなる。節電は無理なく継続し、習慣づけるためには、家族で話し合った上で取り組むことが大切ではないだろうか。

出た。熱と苗を育てている。見づらい見ていると思っ、脱水の時だけ洗濯機を使うと洗濯の回数も減り、水や電気の節約にもなる。節電は無理なく継続し、習慣づけるためには、家族で話し合った上で取り組むことが大切ではないだろうか。

今年も、あの暑さが冷蔵庫はいつも設定を下げようと思う。照明は白熱電球が切れラックが差し込まれたまま(盛岡市 主婦 64歳)

今春、次女がお産で1カ月ほど里帰りした。その間、乳児の使用する紙おむつの量が多く、さらに長女の子どもを預かると、家庭ごみに占める紙おむつの量は数倍になった。母が介護施設でお世話になっていたときも、大量に出る大人用紙おむつを見て、リサイクルできないものかと思っていた。

6年ほど前、横浜市で開催された容器包装リサイクルフォーラムで、先進的な取り組みをしている団体や企業



紙おむつ再生推進願う

松村ウメ子

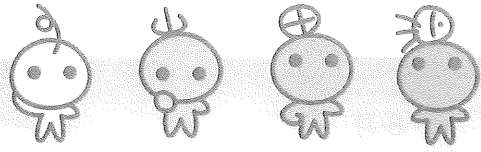
政モニターきつげられた。福岡県業として技術開発が進める機会のある自治体では、使われる使用済み紙おむつを回収し、建築資材や燃料、肥料に再資源化し、最終目標は再生紙おむつを商品化することとなる。子ども用は減少

の展示があった。使用済みの紙おむつを回収し、リサイクルする企業が環境大臣特別表彰を受けたことが印象に残った。数カ月前、新聞で「家庭の紙おむつリサイクル」という見出しに引くと、環境省の助成事業

の回答はなかった。自治体が家庭から出る使用済み紙おむつのリサイクルにしているのは全国初と聞いた。日本は世界でも乗出すのは全国初と聞いた。例がないスピードで高齢化が進んでいる。今は着実に増加すると予測している。特に被害の大きかった福島、宮城、岩手各県に、このよう

なリサイクル工場を造れば、雇用の創出につながるのではないだろうか。また、紙おむつに使用(盛岡市 主婦 64歳)

岩手県生活問題研究会



発足から40年近い当研究会は、「手や足を動かし、目で見て考える」ことをモットーにして地道に活動してきました。

また、他団体との連携を大切にし啓発活動にも努力してきています。

当初から活動の中心になっているのは、いのちの源である水が汚染されていないか、汚染の元凶は何かを調査し発信することです。

長い間の調査で分かったことは、河川水の汚染は改善されていることです。

水環境に関心のある人も増えてきていることもありますが、再び元に戻さない努力を今後すすめることがより重要なことではないかと考えます。



活動例紹介

〈メダカの実験〉

◆「洗剤が生態系に及ぼす影響」

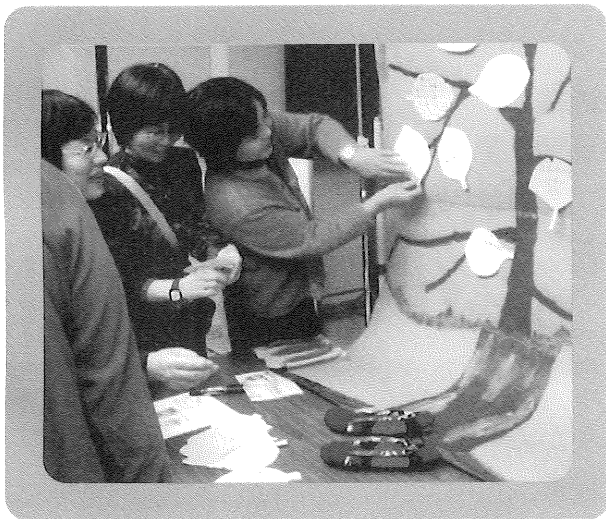
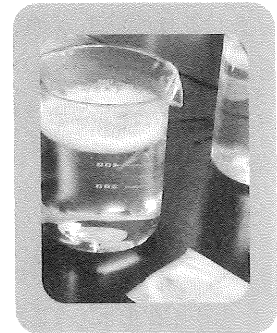
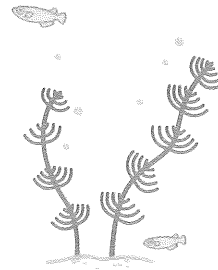
石けん、合成洗剤2種類使用溶液は100倍、1,000倍、10,000倍にうすめる。

◆ 経過の観察

ビーカーに溶液500mlをそれぞれ準備しメダカの状態を観察。死亡した時間を計測。

◆ 観察の結果

洗剤溶液の中では、石けんの水溶液がメダカにとっては生きやすいことが分かった。



〈環境カルタ・エコツリー作り〉

啓発活動の実践

地球温暖化防止、CO₂削減が叫ばれて大分経過しています。

日常の中でどのように意識づけるか、しかも楽しく実践できることがねらいです。絵も文もすべて手作りで考え、出来上がった時は大満足でした。イベントの会場では、カルタとり等も行います。

エコツリーは、来場したひとり一人が日常実践していることや、思っていることを書いて貼り付け一本のツリーを作ります。自由に書くことができるので子どもにも興味関心があるようです。このほか、他団体との連携イベントでは、可能な限り実演をし、啓発活動をこころがけています。

佐藤まゆみ記

問合せ先 事務局
田上みね子 TEL 019-688-6608

平成23年度活動報告（2011年度）

6月

- 8日（水）例会 共済会会議室
- 15日（月）東日本大震災、県への要請行動 岩手県庁 11階環境生活部長室
- 22日（水）米トレーサビリティ制度説明会 合同庁舎
- 23日（木）消団連常任幹事会、岩手県消費者大会実行委員会 県民生活センター

7月

- 13日（水）例会 共済会会議室
- 27日（水）原発絶対体制から 教育会館大ホール
- 28日（木）消団連幹事会、消費者大会実行委員会 県生活センター
- 29日（金）東北米粉利用推進連絡協議会及び「米粉利用拡大セミナー」
エルパーク仙台セミナーホール

8月

- 1日（月）水の日行動 中三前
- 2日（火）消費者大会分科会打ち合わせ メトロポリタン4階『樹苑』
- 10日（水）例会 共済会会議室
- 24日（水）消団連幹事会、消費者大会実行委員会 岩教組会議室
- 29日（月）洗濯すすぎ液残留海面活性剤量調査の学習会 県民生活センター

9月

- 8日（木）岩手県生活者懇談会 マリオス188会議室
- 21日（水）例会 生活問題研究会会議室
- 29日（木）消団連幹事会、消費者大会実行委員会 県民生活センター

10月

- 6日（木）例会 生活問題研究会会議室
- 12日（水）消団連幹事会、消費者大会実行委員会
- 12日（水）TPP参加反対緊急集会 都南公民館キャラホール
- 28日（金）岩手県消費者大会 サンビル7階

11月

- 2日（水）上山製紙工場見学・研修
- 8日（火）消費者大会実行委員会ふりかえり
- 9日（水）例会 生活問題研究会会議室
- 24日（木）原発エネルギー学習会 教育会館会議室

12月

- 2日(金) 産直運動推進大会 県民会館中ホール
- 3日(土) 全国消費者大会 東京虎ノ門 発明会館ホール
- 14日(水) 消団連幹事会
- 15日(木) 例会 生活問題研究会会議室
- 16日(金) 原発学習会 アイーナ8階803会議室
- 22日(木) 炊き出し支援、仕込み作業
- 26日(月) 炊き出し支援、仕込み作業

1月

- 11日(水) 例会&新年会 研究会会議室 エスポワール盛岡
- 24日(火) 消団連幹事会、電機商業組合学習会 県民生活センター
- 25日(水) 原発学習講演会 サンビル7階ホール

2月

- 3日(金) いわて女性のつどい 盛岡市民文化ホール 大ホール
- 7日(火) みどりのフェスティバル実行委員会
- 8日(水) 例会 生活問題研究会会議室
- 17日(金) 原発学習会 サンビル7階ホール
- 22日(水) 消団連幹事会 岩教組会議室
- 29日(水) いわて食ネット学習講演会 水産会館5階大会議

3月

- 14日(水) 例会 生活問題研究会会議室
- 19日(月) 全国消費者フォーラム アルカディア市ヶ谷
- 21日(水) 東北消費者フォーラム ホテル福島グリーンパレス
- 22日(木) 消団連幹事会 教育会館会議室
- 27日(火) 岩手県福祉基金評議委員会 10:30~ふれあいランドいわて

4月

- 9日(月) 例会 研究会会議室
- 20日(金) 「水清き」のまとめ作業
- 23日(月) 消団連総会 水産会館5階大会議室

5月

- 9日(水) 例会 研究会会議室
- 20日(日) みどりのフェスティバル 中津川河川敷
- 22日(火) 岩手県福祉基金評議員会 エスポワール盛岡
- 23日(水) 消団連幹事会 県民生活センター

☆ 各種モニター等

- ・ 岩手県資源再利用認定審査会委員 佐藤まゆみ
- ・ 公正取引委員会・独占禁止政策協力委員
(消団連幹事として) 横藤崇子
- ・ (財)福祉基金評議会委員 (消団連副会長として) 田上みね子
- ・

* * * * *

☆ 廃油石けん作り

- 松村 19、80
- 田上 16、50

* * * * *

☆ 会員

- ・ 佐藤まゆみ ・ 広野カツ子 ・ 松村ウメ子 ・ 田上みね子 ・ 吉田静子
- ・ 横藤崇子 ・ 川村正子 ・ 高橋タミ子 ・ 小野寺京子



活動ステップ



